



学校だより

(11月号) 平成30年10月31日発行

<http://shibiraki-e.saitama-city.ed.jp/>

【学校の教育目標】

- ◎ 夢(ゆめ)にむかって ともに学びあう学校
 - ・進んで勉強する子
 - ・自分からあいさつのできる子
 - ・仲よくたすけあう子
 - ・じょうぶな子

《今月の生活目標》やさしい言葉づかいをしよう

ひとつの言葉で…

校長 河井 尚

いよいよ霜月を迎え、今年も残すところ2か月となりました。朝晩はめっきり冷え込み、木々も色づき始め秋の深まりを感じる今日この頃です。「天高く 馬肥ゆる秋」という言葉どおり、食欲の「秋」真っ盛りです。また、過ごしやすくさわやかなイメージのある季節。読書、スポーツ、芸術、そして「しびらきっ子」にとって実りのある月にしてほしいと思います。

さて、10月24日(水)の「生活講話」の朝会に於いて、4年1組の児童が「心を潤す4つの言葉」を題材に、11月の生活目標「やさしい言葉づかいをしよう」について発表を行ってくれました。クイズや寸劇を通した発表は、内容がとてもわかりやすく、心に届く素晴らしいものでした。

今月の生活目標にちなみ、言葉にかかわるコラムを二つ紹介します。それぞれ全文から一部を抜粋しています。

あなたに向かって「バカ!」と悪口を言う人がいたら、ほうっておくに限りません。では、こんな場合はどうでしょう。友だちのAさんが、別のBさんのことを、「あの子、バカだね」と言いました。Bさんはよく物をなくすらしいのです。教科書も何度もなくして、新しく買い直したとか。

「ねえ、バカでしょう」そう言われて、つい、「うん、そうだね」と答えそうになります。でも、ちょっと待った。そこで賛成してはいけません。どうしてでしょうか。人の悪口を言うのはよくないことだから?もちろん、そうですが、それだけではありません。

人の悪口を言うと、必ず本人に伝わってしまうからです。しかも、ゆがんだ形で。Aさんは、他の友だちにも同じように「Bさんはバカだね」と言うかもしれません。そのとき、あなたがAさんに賛成していたことも話してしまうかも。それを聞いた友だちは、あなたがBさんの悪口を言っていたと、Bさん本人に伝えるかもしれません。あなたは、Aさんに調子を合わせたただだったのに。

こんなふうに、人の悪口を言うと、必ずどこかで本人に伝わります。こわいですね。

毎日小学生新聞『日本語どんぶらこ』(2018(平成30)年10月4日(木))

学校の帰り道、友だちとふざけあって、その子の手さげぶくろをつかんだら、持ち手のひもが破れてしまいました。友だちはかんかんにおこっています。こんなとき、あなたならどうしますか。そう、もちろん謝りますね。まずは「ごめんなさい」の一言が必要です。でも、それ以外にもうひとつ、必要なことばがあります。

「その手さげ、とても大切にしていたよね」

この一言です。友だちは、大切な手さげぶくろを破られて、ショックを受けています。「とても大切にしていたよね」という一言は、友だちの気持ちを想像して、理解しようとするこことばです。同(2018(平成30)年9月6日(木))

互いに気持ちを想像し合い、やさしい言葉づかいでコミュニケーションがとれ、全ての人が穏やかな生活を送れるといいな、と思います。

「やさしい言葉は、たとえかんたんな言葉でも、ずっとずっと心にこだまする。」

(マザー・テレサ)